

News Release

2019年10月2日
大森機械工業株式会社
株式会社日本政策投資銀行

大森機械工業(株)と(株)日本政策投資銀行による (株)大森SDの設立および協和電機(株)への出資

－「特定投資業務」を活用し、包装機械業界における事業承継に対する取組を支援－

株式会社日本政策投資銀行（以下「DBJ」という。）および大森機械工業株式会社（本社：埼玉県越谷市、代表取締役社長：大森利夫、以下「大森機械」という。）は、包装機械業界における後継者問題等の課題解決のために、事業承継の受け皿となる新たな会社（株式会社大森SD、以下「大森SD」という。）を設立し、大森SDを通じて、協和電機株式会社（代表取締役社長：原田幸一、以下「協和電機」）の株式譲受を実施しました。

大森機械は、「革新的製品生産包装システムを創造し、ユーザー様ご満足の最大化を追求する。それにより企業価値を高め、従業員、地域、国、国際社会に貢献し世界トップメーカーを目指す。」ことを経営理念とし、昭和23年の創業以来、顧客の要望に応じてさまざまな包装機械を提供してきた包装機械メーカーのパイオニアです。難易度の高い包装システム機器を数多く開発するなど、独自に蓄積した高い技術力・ノウハウを有していることから、DBJは大森機械を「バリューチェーンコア企業（注）」に選定しています。

協和電機は、昭和23年に創業されたシュリンク包装のパイオニアです。化学メーカーのシュリンクフィルム開発に伴い、収縮包装機械を開発し、「協和のシュリンクトンネル」として、包装業界に画期的な包装合理化の機運をもたらしました。今般、後継者問題の解決および将来の更なる成長機会の獲得を企図して、大森機械グループとして新たな道を歩むことを選ばれました。

DBJは、本件が包装機械業界における事業承継問題の解決を促進する取組であると共に、バリューチェーン上で重要な役割を担っている大森機械およびわが国包装機械業界の競争力強化にも繋がるものとして、「特定投資業務」を活用しリスクマネーの供給を行うこととしました。

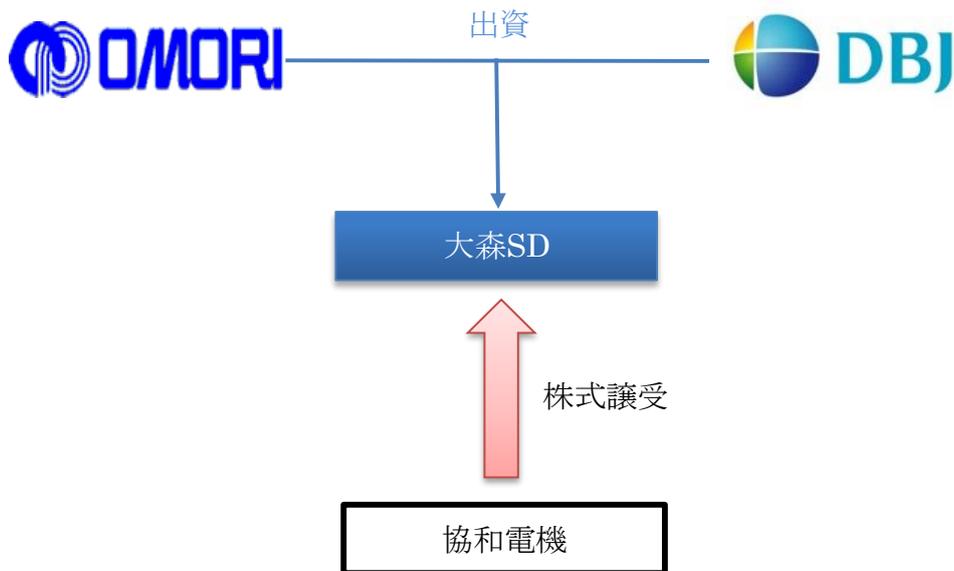
DBJは、企業理念「金融力で未来をデザインします～金融フロンティアの弛まぬ開拓を通じて、お客様及び社会の課題を解決し、日本と世界の持続的発展を実現します～」に基づき、今後とも「特定投資業務」を通じた成長資金に係る市場の発展や地域経済の活性化、競争力強化に向けたお客様の取り組みを積極的にサポートしてまいります。

News Release

<大森 SD 概要>

商号 : 株式会社大森 SD
設立 : 令和元年 7 月 16 日
本社所在地 : 埼玉県越谷市
出資者 : 大森機械工業、DBJ
代表者 : 大森利夫

<スキーム図>



(注)「バリューチェーンコア企業 (以下「VCC」という。): DBJ が独自に選定した、売上高 1,000 億円以下の独立系 BtoB 製造業 (原則) であって、産業自体のサプライチェーン上において、付加価値の源泉となっている企業のこと。DBJ では、2012 年度の初選定以降、継続的なコミュニケーションを通じて、金融・情報面から VCC の成長支援に注力しています。

【お問い合わせ先】

大森機械工業(株) 管理本部 (財務課) 電話番号 048-988-2111
(株)日本政策投資銀行 企業金融第1部 電話番号 03-3244-1680